

Pick Up Exhibition

秋は昔から芸術の秋といい、
作品展や文化祭が多く行われます。
造形 JOURNAL 編集部が取材した
展覧会から注目ポイントを
Pick Up してお届けします。



丘の上の休憩所にも作品が展示されています。



地形を生かして、坂道にも作品が展示されています。

造形おかざきっ子展 (愛知県)

丘の上からは会場を見渡すことができます。会場は丘の反対側にも広がっています。

開隆堂

野外造形展ならではの



豊橋子ども造形パラダイス (愛知県)



作品を透した光が地面に美しく映っています。



入り口を入ると中学生たちがつくった巨大なのぼりがお出迎えしてくれます。

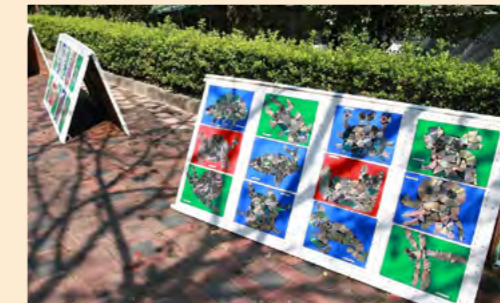


木にロープを張って作品が吊られています。すべての木がきちんと養生されていました。

豊川子ども造形広場 (愛知県)



作品と同じ材料を使って、題材紹介が工夫されています。光があたって、題材名が輝いています。



地域の名勝・豊川稲荷を見学したあと、願いをかなえてくれるキツネをねん土でつくりました。



2階廊下に彩色したビニルシートを渡して空間の上部を装飾しています。どちらを向いても作品に囲まれたすてきな空間です。



体育館内の通路に置かれた蛍光塗料の作品がブラックライトに照らされて幻想的な空間になりました。

空間演出の Pick Up



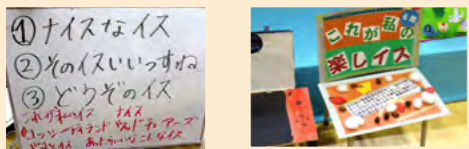
色セロハンをはると、簡単に窓を装飾することができます。空を泳ぐ魚を表現しました。



お客様をお迎えする時から非日常の空間が感じられるようにさまざまな工夫がされていました。校門や玄関を飾ったり、校舎から大きな垂れ幕を垂らしてアピールしたりしています。ガラスに描くの具は「キットパス」(日本理化学工業株式会社)で、ホワイトボード、ガラス、プラスチック等のつるつるした平滑面に描け、濡れた布などで簡単にけすことができます。中学生になると生徒たちが自分たちで計画を練り、主体的に準備を進めています。

出合いの Pick Up

作品展示の Pick Up



題材名は作品を制作した学年の子どもたちが考えました。題材の意図を踏まえた上で響きのよい言葉をいくつも考えて、アイデア出しをして決めました。



学校オリジナルの展覧会のロゴマークやキャラクターがつけられていました。児童全員から案を募って選ばれました。

展覧会準備の Pick Up



オイルパステルで描いた自画像、加工した写真に色鉛筆で着色した自画像2点を並列させて展示しています。



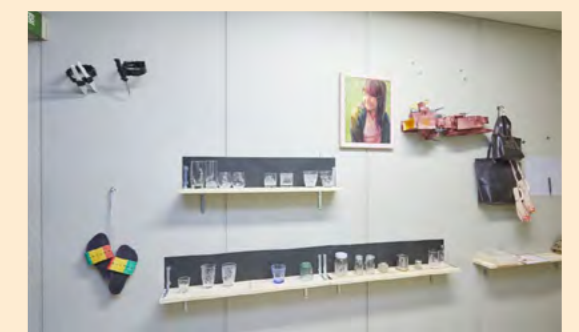
作品を飾るだけでなく、題材の一つ一つに説明がつけられています。保護者の方にも好評だそうです。



校内の展示は基本的に子どもたちが中心となって取り組みました。学年の展示物は自分たちで展示し、題材の看板も該当学年の子どもたちでつくっています。垂れ幕などの装飾は学年を越えて全児童で分担しました。



机の上にイスを置いて、山をつくっています。同じ色の布をかけると統一感が出せます。



廊下にも作品が展示されています。棚は、壁を傷つけないように強力マグネットで固定されています。